

内科の新しい先生を紹介します

前川 勝英 (まえかわ かつひで) 内科部長



資格：日本内科学会認定医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器学会胃腸認定医

一言：内視鏡検査や内視鏡治療で、みなさまのお役に立ちたいと思います。よろしくお願ひ申し上げます。

外来診察は毎週金曜日です

木村 久仁子 (きむら くにこ) 内科医師

資格：日本内科学会認定医、日本腎臓学会専門医



一言：7月より勤務させていただくことになりました。地域医療に貢献できるよう頑張りたいです。不安なことや疑問点がありましたら、お気軽に相談ください。

外来診察は毎週月曜日です

眼科の新しい先生を紹介します

夏目 恵治 (なつめ えいじ) 眼科部長



一言：本年7月より着任いたしました。地域医療に貢献できるよう頑張りたいと思っています。

外来診察は毎週月・火・水・金曜日です

糖尿病教室のご案内 参加費無料

8月は13日・20日・27日に行います。

【時間】午後2時～3時 【場所】東館2階232号室

8月の土曜日の開院日のご案内

1日、15日、29日を平常診察（耳鼻いんこ、皮膚科は休診）します。また1日と29日の泌尿器科は休診となります。

人事異動（平成21年6月30日付退職）

丸山 直樹（内科部長）、伊藤 充代（内科医長）

葛城 良昌（眼科医師）

「おくすり手帳」お持ちですか？

薬剤科では、お薬の情報提供（お薬の色々なこと）のため、入院患者さまには「薬剤管理指導業務」として薬剤師が薬の作用・副作用、疾患と薬の関係などを説明したり、患者さまからの薬の疑問や不安に応えたりして薬の重要性を認識して頂くとともに、コンプライアンス（お薬を医師の処方どおりに正しく服用されているか）の向上に努力しています。

また外来患者さまには、お薬と一緒に、効用や副作用を記した「お薬について」の用紙をお渡しすると共に、高齢の患者さまには「おくすり手帳」に毎回、薬の内容を印刷してお渡ししています。



服用した薬の記録を残す事は、これから治療を受ける上での大切な資料になります。

「おくすり手帳」は2000年4月から全国的に発行されるようになり、医療機関名・処方箋の内容・処方日等について記載しています。

しかし手帳をもっと有効に利用して頂く為に、薬剤師が記載するだけでなく、患者さま自身に次の項目等を書き込んで頂くことにより、色々な情報が共有でき、治療や副作用防止に大変役立ちます。

お薬手帳活用法の記載具体例

お薬を飲んだ時の症状（アレルギー・等）

常備薬や健康食品等

今までの飲んで合わなかった薬
医師や薬剤師に質問したい内容
他病院でのお薬の内容（重複投薬）

また、おくすり手帳を使って、こんな良いことがあります。

副作用を防止できる

飲み合わせのチェックができる

健康記録に役立つ

旅行に行った時や災害時に役立つ

ということで、日頃から数多いお薬の中からあなたにだけ処方されたお薬のことを、より深く理解し、安心して治療が受けられるように、このおくすり手帳を有効に使って頂き、健康管理に充分に気をつけて頂ければと思います。

そして、お薬の飲み方・使い方は大切な事です。

患者さまの状態や病気によって様々ですので、お薬を窓口で受け取られたら、必ずその都度、名前の確認と薬袋（お薬の袋）の確認をして頂き、分からないことや不安なことがあれば、お気軽に薬剤師に相談してください。

現在、75歳以上の方に

「おくすり手帳」をお渡ししていますが、お持ちでない方はぜひ、薬剤科に声を掛けて頂きまして、これからの健康管理にお役立て頂ければありがたいと思います。



薬剤科長

中島千鶴